

## 平成 31 年度 市川市立北方小学校の経営

### 学校教育目標

健康な心と身体を育み進んで学ぶ子どもを  
みんなで育てる  
やさしく・かしこく・たくましく

### めざす学校

きみがいて  
たのしく遊び  
かたりあい  
たのしく学ぶ  
小学校



市のシンボルである黒松の葉で四周を囲む。頭、体、心、モラルの調和のとれたたくましい子どもの成長を 四周の松葉に托す。

(デザイン 藤野舜正氏)

北方小学校は、三つの側面から子供たちの成長を見守り 促し、支援します。

#### ○探求することを楽しみ進んで学ぶ子供

- ・自分らしさを発揮でき、居心地のよい教室づくり。
- ・思考する場面、判断する場面、それら考えを表現する場面のある授業づくり
- ・自主学習ノート(家庭学習)の学年ごとの工夫による、子供たちの自主学習力の育成

#### ○優しさと慈しみを知る(感じる)子供

- ・あいさつ推奨の継続 あいさつし合う(年間重点目標です)ことの良さを実感
- ・交流教育の充実
- ・異年齢集団の活動を充実
- ・地域社会の身近な人や、交流教育の場、縦割り活動の場での多くの友達とのふれあいの中 等で、子供が多様な関わりをできる場を設定しています
- ・身近な自然に親しみ、命の大切さをおもう子供

#### ○心身のたくましさを持つ子供

- ・社会生活に必要な基本的な生活習慣や態度の基礎部分を「校内」という社会の中でこそ実践、と意識します
- ・体を動かし遊ぶ子供、スポーツに親しむ子供(「北方小健康教育」の常在化)

北方小学校は、家庭・地域との連携、と 地域での育ちを意識します。

○教育基本法改正(H18)に則り、「学校・家庭・地域の三者がそれぞれの責任のもと協力し合う」(同法 13 条)を意識し経営を進め、北方小学校の子供の教育に関わる人々みんなで、地域の子を育てるという意識を大切にします。

○子供たちの学校での教育を担う私たちは、

心身ともに健康で 協力し高め合う 北方小学校の教職員集団 をモットーとして教育活動を進めたく よろしくお願ひします。

そのために、「地域に向かって のびやかに広がる カリキュラム開発」を意識し(=社会の中での学校の役割を意識 という意味で) 校内研究活動(実践の場での研究者という立場を楽しむ)と日々の授業実践(実践としての授業で教師としての力を自分で把握していく)との連動の中で、教職員集団がお互いに授業の質を高め合う雰囲気であることを学校内での隠れた目標とし、この目標への近接が「育てたい子供像」の実現へ※とつながっていく、と考えます。

※次期指導要領が謳う、「資質・能力」の 3 つの柱；

- 1) どのように社会・世界と関わるのか、という「学びに向かう力・人間性」
- 2) 何を理解し何ができるのか、という「知識・技能」
- 3) 理解し出来ることをどう使うか、という意味での「思考力・判断力・表現力」

幼稚園から高等学校まで柱が共通であることを意識し、「学びに向かう力」を学校、家庭・地域の人々で、ゆっくりしっかりと育成したいと考えています。



第 5 代 香取彦夫校長先生 を顕彰する像。